

地方創生フォーラム in 香川

瀬戸内国際芸術祭をきっかけとした人の交流・地域づくり



▲ヘザー・B・スワン+ノンダ・カサリディス
「海を夢見る人々の場所」 Photo Kioku Keizo



▲農村歌舞伎 Photo Shintaro Miyawaki



▲眞壁隆二「謎の家」 Photo KIOKU Keizo



▲女木島 Photo Shintaro Miyawaki



▲こえび朝礼

事前申込み制

申込み方法は裏面参照

オンライン同時開催
YouTube LIVE配信

令和4年 **10月5日** 水 13:00-16:00

レクザムホール (香川県県民ホール)
小ホール

香川県高松市玉藻町9-10 TEL.087-823-3131

入場:無料 定員:150名

基調講演



photo by Mao Yamamoto

瀬戸内国際芸術祭
総合ディレクター
北川 フラム氏

パネルディスカッション (順不同)

瀬戸内国際芸術祭がつむいだ
人・地域の“縁”について

コーディネーター 兼 インターナショナルオフィス長 **原 直行氏**

登壇者 香川県教育委員会 教育長 **工代祐司氏**

特定非営利活動法人 男木島生活研究所 理事長 **福井大和氏**

特定非営利活動法人 瀬戸内こえびネットワーク事務局長 **甘利彩子氏**

瀬戸内国際芸術祭がつなぐ縁

100万人以上が訪れ、多様な体験を提供しながら地域と人を豊かにしている「瀬戸内国際芸術祭」。それはもはや、単なるアートの祭典ではなく、アーティスト・訪れた人々・地域に住まう人々との間に多様な交流を生み出し、様々な面から地域の元気を創出するきっかけとなっています。

本フォーラムでは、こうした「人・地域の縁」により、地域に新たな未来・可能性を示す「瀬戸内国際芸術祭」を振り返りながら、これからの地域づくりや地域の豊かさとは何かについて考えます。

主催: 香川県、一般財団法人 地域活性化センター

後援: 未定

※新型コロナウイルスの感染状況等により内容変更の可能性があります

瀬戸内国際芸術祭1DAYツアー
(エクスカージョンツアー) 企画中
※裏面参照

プログラム

12:30～ 開場・受付
13:00～ 開会・挨拶(香川県・地域活性化センター)

13:10～ **基調講演** 北川 フラム氏
瀬戸内国際芸術祭 総合ディレクター

14:30～ **パネルディスカッション**
テーマ:「瀬戸内国際芸術祭がつむいだ 人・地域の“縁”について」
コーディネーター 原 直行氏
香川大学 副学長 兼インターナショナルオフィス長
登壇者 工代 祐司氏
香川県教育委員会 教育長
福井 大和氏
特定非営利活動法人男木島生活研究所 理事長
甘利 彩子氏
特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワーク事務局長

16:00 閉会

応募要項

【参加申込方法】

右記の二次元コードから専用の申込ページを開き、必要事項を記入の上、お申込みください。



申込みURL

https://www.jcrd.jp/event/forum/2022/0706_2619

【お問い合わせ・申込み先】

一般財団法人地域活性化センター
地域創生部地域創生・情報広報グループ地域創生課
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザ13階
MAIL:chiiki@jcrd.jp TEL:03-5202-6136 FAX:03-5202-0755
URL:<https://www.jcrd.jp/seminar/forum/>

申込み締切:9月26日(月)

【留意事項】

- ・配信内容の録画や二次利用は固くお断りします。
- ・お知らせいただいた個人情報は、事務連絡・各事業のご案内に利用させていただく場合があります。



香川県民ホール

レクザムホール

小ホール | 香川県高松市玉藻町9-10
TEL.087-823-3131



基調講演



photo by Mao Yamamoto

北川 フラム氏 Kitagawa Fram
瀬戸内国際芸術祭 総合ディレクター

新潟県高田市(現上越市)生まれ。東京芸術大学美術学部卒業(仏教彫刻史)。
日本を代表とするアートディレクターとして、国内外の多数の芸術祭・展覧会・演劇などを手掛けプロデュースし、文化功労者(2018年)をはじめ数多くの賞を受賞。「瀬戸内国際芸術祭」には、第1回から総合ディレクターとして企画・運営に携わり、10年以上に亘って、芸術祭とそれらによってもたらされた瀬戸内地域の変化を見てきた。また、瀬戸内国際芸術祭以外にも、全国で多数のアートによる地域づくりの実践に取り組む。

パネルディスカッション

順不同

瀬戸内国際芸術祭がつむいだ 人・地域の“縁”について

コーディネーター



原 直行氏 Hara Naoyuki
香川大学 副学長 兼インターナショナルオフィス長

東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。博士(農学)。2021年10月から現職。香川大学経済学部教授としても「観光・地域活性化」を専門として研究活動に従事し、自身もフィールドでアクションを起こしながら、地域の多様なプレイヤーと協働し調査する「アクション・リサーチ」を用いた研究に取り組み、瀬戸内国際芸術祭を主題としたものを含め「観光による地域活性化」に関する多様な研究実績を持つ。

登壇者



工代 祐司氏 Kudai Yuji
香川県教育委員会 教育長

昭和56年香川県採用。香川県政策部長・審議監などを経て平成29年4月から現職。観光交流局長時代に、初回開催となる「瀬戸内国際芸術祭2010」の実行委員会事務局長を務め、地域で初めてとなる取組みながらも地域の方々と協働し運営に携わった。当初30万人の来場者見込みだった「瀬戸内国際芸術祭2010」は、最終的には3倍以上となる約93万人の来場者となり、第1回目ながら多くの反響を得た。



福井 大和氏 Fukui Yamato
特定非営利活動法人男木島生活研究所 理事長

香川県高松市男木島生まれ。中学卒業後、島を離れていたが、「瀬戸内国際芸術祭2013」をきっかけに、18年ぶりに家族で男木島へUターンを決意。休校していた男木小中学校の再開活動に取り組み、Uターン後は保育園の再開など島で子育て出来る環境を整え移住・定住を支援。ワーキングスペースの整備や「ICTを活用した高齢者の見守り・教育」の実証事業など男木島での暮らしのアップデートや男木島コミュニティ協議会の会長として、地域住民と接しながら様々な取り組みを行なっている。



甘利 彩子氏 Amari Ayako
特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワーク事務局長

長野県長野市生まれ。2004年香川県高松市に移住。2009年、瀬戸内国際芸術祭ボランティアサポーター「こえび隊」立ち上げ、事務局の運営を始める。2012年、NPO法人瀬戸内こえびネットワーク発足。島民の方の協力なしでは成り立たない芸術祭において、島と人とのゆるやかなつながりを持つ役割であるこえび隊の活動を支えているほか、島々との交流やサポーター、食、パフォーマンスアーツ、ツアー、継続プロジェクトなど、多様な面で瀬戸内国際芸術祭の企画・運営に取り組んでいる。

本フォーラムの翌日
10月6日(木)

**瀬戸内国際芸術祭1 DAYツアー
(エクスカーションツアー)開催を予定**

詳細は決まり次第
改めて公表・周知します。

フォーラム参加者等を対象とした、瀬戸芸会期中の島を巡るガイド付きツアーの開催を検討中
10/6 1DAY ツアー概要(予定) 昼食、ガイド付き
高松港集合・解散(9時 高松港発⇒男木島・大島または豊島(チャーター船により移動)⇒17時 高松港着

ツアー参加費については
自己負担となります

主催: NPO法人瀬戸内こえびネットワーク事務局・琴平バス株式会社 ※新型コロナウイルス感染症等により内容変更・中止の可能性があります